2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社クラレ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3405	URL	https://www.kuraray.com/jp-ja/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）	川原　仁
問合せ先責任者	（役職名）経営企画室 ＩＲ・広報部長	（氏名）	滝沢　慎一　　(TEL) 03-6701-1070
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	643,351	8.4	69,733	50.4	65,341	63.0	40,624	78.3
2025年12月期第３四半期	593,424	△3.5	46,358	△37.3	40,089	△43.0	22,784	△51.1

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　39,473百万円(333.6%)　2025年12月期第３四半期　9,103百万円(△82.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	134.35	134.28
2025年12月期第３四半期	71.35	71.31

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,330,382	766,263	56.6
2025年12月期	1,303,511	755,175	57.0

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　752,890百万円　2025年12月期　742,620百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	ー	27.00	ー	27.00	54.00
2026年12月期	ー	32.00	ー		
2026年12月期(予想)				32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
2026年12月期年間配当金（予想）の内訳 普通配当 54円00銭 記念配当 10円00銭

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	880,000	8.9	70,000	18.9	64,000	24.2	40,000	435.6	132.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：有

除外　３社　　（社名）可楽麗亜克力（張家港）有限公司、WATERLINK (UK) HOLDINGS LIMITED 他１社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	302,133,603株	2025年12月期	307,963,603株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	837,105株	2025年12月期	924,408株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	302,369,045株	2025年12月期３Ｑ	319,316,894株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）５ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……5
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……10
（セグメント情報等の注記） ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における世界経済は、AI関連投資などにより底堅く推移したものの、地政学的緊張を背景とした資源・エネルギー価格の上昇及びサプライチェーンの混乱により、先行き不透明な状況が続きました。日本経済は、設備投資や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復が続いたものの、物価上昇により需要停滞への懸念が続きました。米国経済は、AI関連投資や堅調な内需に支えられ底堅く推移したものの、物価や政策動向を巡る不確実性などから成長ペースは緩やかなものとなりました。欧州経済は、防衛関連投資などが景気を下支えしたものの、エネルギー価格の高騰を受け低成長が継続しました。中国経済は、不動産市場の低迷が継続したことに加え、内需も力強さを欠き、低成長が続きました。

かかる環境下、当社グループの業績においては、売上高は前年同期比49,927百万円（8.4%）増の643,351百万円、営業利益は23,375百万円（50.4%）増の69,733百万円、経常利益は25,252百万円（63.0%）増の65,341百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,840百万円（78.3%）増の40,624百万円となりました。

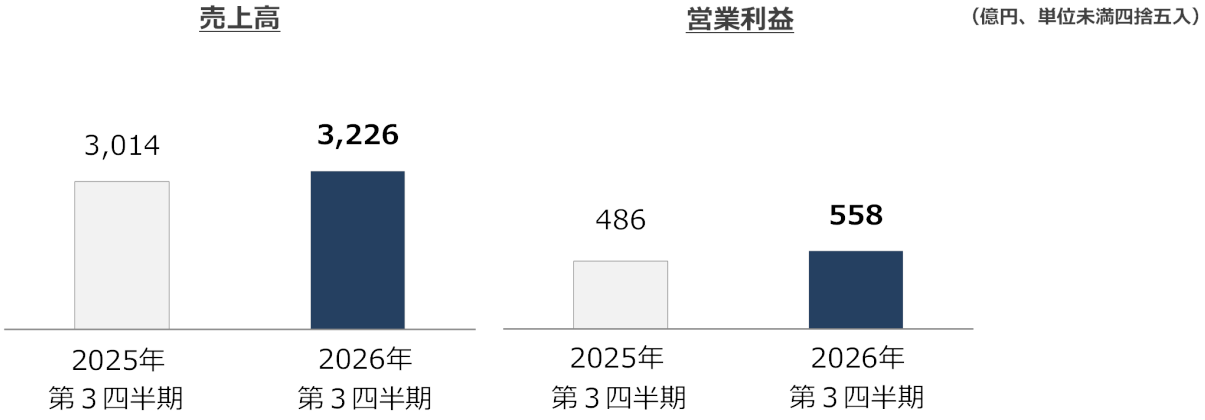
また、2026年１月１日に組織改定を行い、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を「その他」から「機能材料」に変更しました。当第３四半期連結累計期間の比較及び分析は、これらの変更を反映した数字に基づいています。

（単位：百万円）

	2025年度 第３四半期連結累計期間		2026年度 第３四半期連結累計期間		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	301,394	48,560	322,639	55,838	21,244	7,277
イソプレン	58,501	△2,178	68,745	3,387	10,243	5,566
機能材料	149,140	4,739	168,121	10,660	18,980	5,920
繊維	43,731	1,295	46,647	8,548	2,916	7,253
トレーディング	49,051	4,225	55,054	5,423	6,003	1,198
その他	31,256	3,045	26,225	1,615	△5,031	△1,430
消去又は全社	△39,651	△13,330	△44,082	△15,739	△4,430	△2,409
合計	593,424	46,358	643,351	69,733	49,927	23,375

［ビニルアセテート］

当セグメントの売上高は322,639百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は55,838百万円（同15.0%増）となりました。営業利益は、原燃料価格の高騰による価格改定を進めたことに加えて、在庫評価差額のプラス影響等がありました。

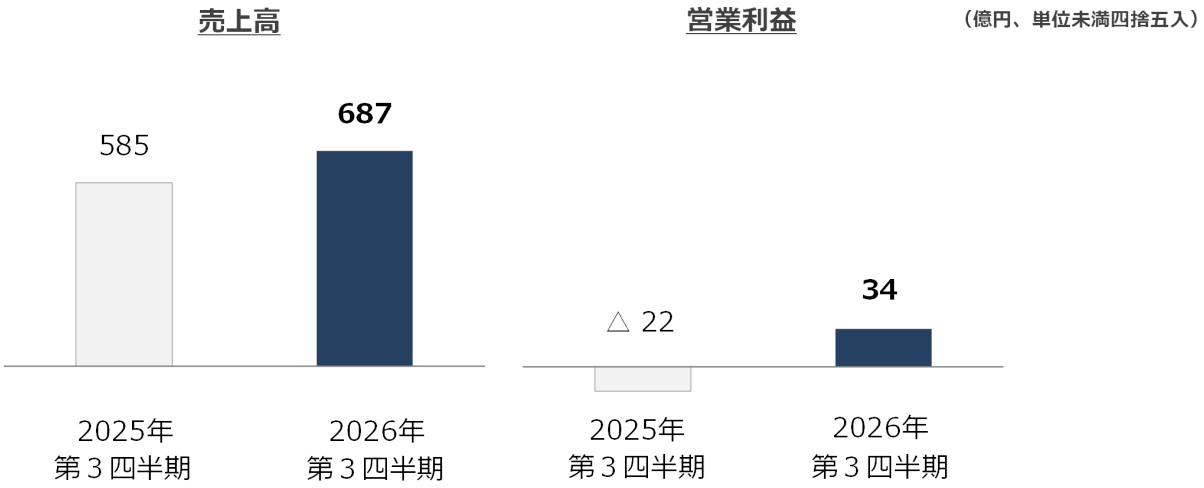


ポバール樹脂：中東情勢による混乱の中で、グローバル供給体制を生かした需要の取り込みを行い、販売数量は増加しましたが、川下事業の一部製品の販売数量減少により稼働率が低下しました。

光学用ポバールフィルム：国際的なスポーツイベントに向けたテレビの買い替え需要に加え、半導体メモリの逼迫や中東情勢の悪化を背景に、部材調達への懸念からサプライチェーンで在庫の積み増しが進んだ結果、販売数量が増加しました。

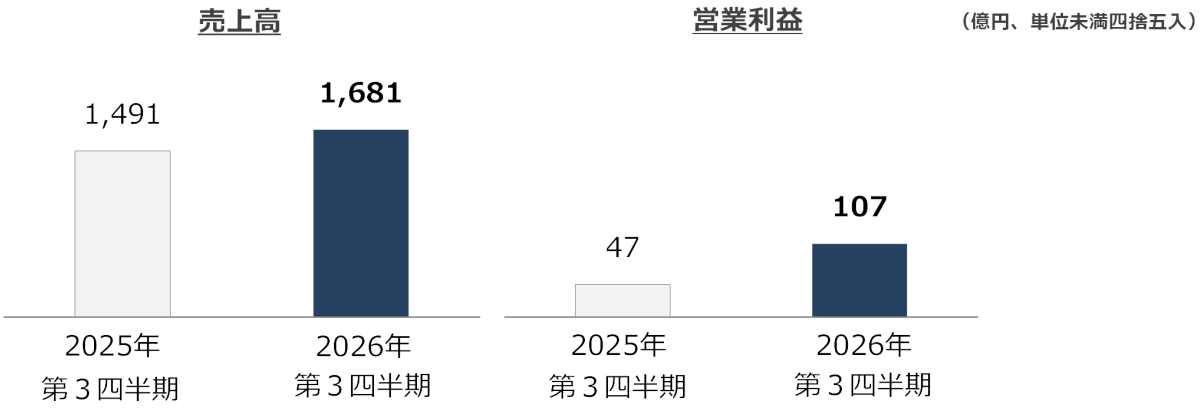
高機能中間膜：ＰＶＢフィルムは欧州・アジアを中心に競争環境の厳しさが継続しており、建築用途及び自動車用途ともに販売数量が減少したほか、特殊アイオノマーシート〈セントリグラス〉も中東情勢悪化を受けた顧客のプロジェクト延期などの影響により販売数量が減少しました。
水溶性ポバールフィルム：個包装洗剤の需要が低調に推移したことにより、販売数量が減少しました。
ＥＶＯＨ樹脂〈エバール〉：自動車用途の販売数量が減少した一方、食品包装用途は堅調に推移し、全体として販売数量が増加しました。

[イソプレン]
当セグメントの売上高は68,745百万円（前年同期比17.5%増）となりました。営業利益は、前年に計上した減損損失に伴う減価償却費の減少や在庫評価差額のプラス影響等があり、3,387百万円（前年同期は営業損失2,178百万円）となりました。



イソプレンケミカル・エラストマー：イソプレンケミカルは中国の建築用途需要低迷により、販売数量が減少しました。エラストマーは米国市場等で販売数量が増加しました。利益面では、減価償却費の減少等に加え価格改定が進んだことによるプラス影響がありました。
耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉：電気・電子用途、自動車用途とも拡販が進み、販売数量が増加しました。

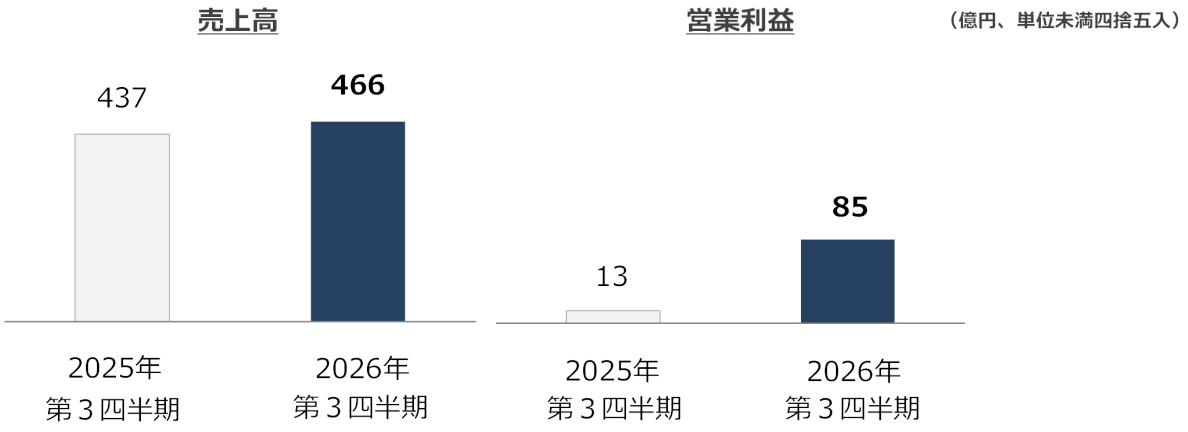
[機能材料]
当セグメントの売上高は168,121百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は10,660百万円（同124.9%増）となりました。堅調な販売により増益となりました。



メタアクリル：生産能力の最適化により販売数量は減少したものの、利益面では販売構成の改善や価格改定が進んだこと等によるプラス影響がありました。

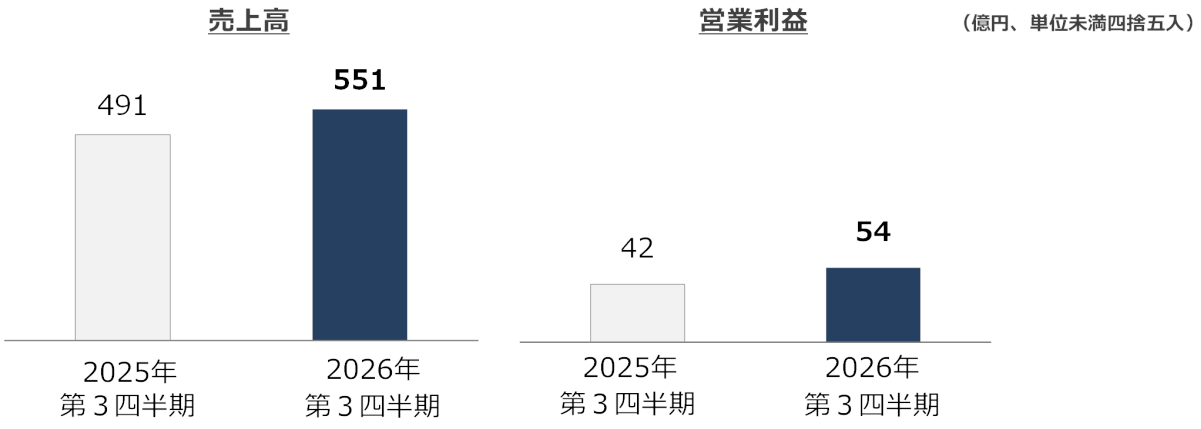
メディカル：審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に堅調に推移しました。なお、拡大する需要に応えるため、第２四半期に三好工場で増強した設備の稼働を開始しました。
環境ソリューション：活性炭の需要は底堅く推移し、販売数量が増加しました。また、価格改定も進めました。なお、将来の再生炭需要の増加に備え、米国での再生炭生産設備の増設（2028年第１四半期稼働予定、2026年２月27日公表）を決定しました。

［繊維］
当セグメントの売上高は46,647百万円（前年同期比6.7％増）、営業利益は在庫評価差額のプラス影響等により8,548百万円（同559.8％増）となりました。



人工皮革〈クラリーノ〉：靴用途などで需要が回復し、販売数量が増加しました。
繊維資材：ＰＶＡ繊維〈クラロン〉は、建材用途などの需要低迷で販売数量が低調に推移しました。利益面では、〈クラロン〉の価格改定や在庫評価差額のプラス影響に加えて、液晶ポリマー繊維〈ベクトラン〉の好調な販売が寄与しました。

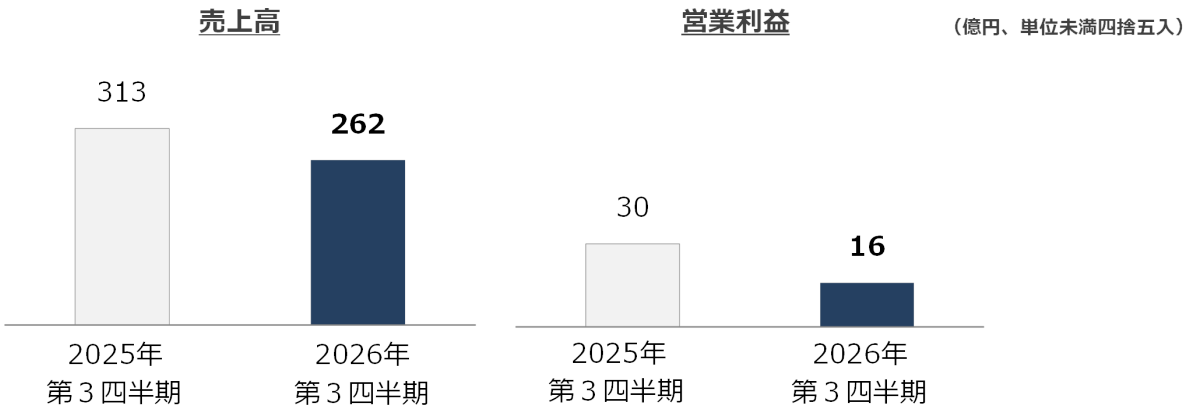
［トレーディング］
当セグメントの売上高は55,054百万円（前年同期比12.2％増）、営業利益は5,423百万円（同28.4％増）となりました。



繊維関連事業：スポーツ・アウトドア衣料用途が順調に推移しました。
樹脂・化成品関連事業：中国を中心としたアジア市場で販売が拡大しました。

［その他］

その他事業の売上高は26,225百万円（前年同期比16.1％減）、営業利益は1,615百万円（同47.0％減）となりました。



（２）財政状態に関する説明

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少14,711百万円及び現金及び預金の減少8,290百万円等の一方、棚卸資産の増加33,560百万円及び有形固定資産の増加20,560百万円等により、前連結会計年度末比26,871百万円増の1,330,382百万円となりました。負債は、未払法人税等の増加7,613百万円等により、前連結会計年度末比15,783百万円増の564,119百万円となりました。

純資産は、資本剰余金の減少10,042百万円等の一方、利益剰余金の増加22,693百万円等により、前連結会計年度末比11,087百万円増の766,263百万円となりました。自己資本は752,890百万円となり、自己資本比率は56.6％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間の利益は通期業績予想と同水準の進捗となりましたが、第４四半期連結会計期間は在庫評価差額のマイナス影響や岡山事業所での定修等により、第３四半期連結会計期間比で大幅な減益を見込むことから、2026年８月７日に公表した2026年12月期通期（2026年１月１日～2026年12月31日）の連結業績予想を据え置きます。なお、予想の前提としている平均為替は米ドル158円、ユーロ182円、国産ナフサ93千円／ kl、米国天然ガス3.1ドル／MMBtu、欧州天然ガス62ユーロ／MWhです。

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,102	95,812
受取手形、売掛金及び契約資産	178,330	163,618
有価証券	4,215	1,901
商品及び製品	178,020	198,843
仕掛品	20,230	24,483
原材料及び貯蔵品	70,184	78,670
その他	24,209	28,080
貸倒引当金	△889	△602
流動資産合計	578,403	590,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	116,992	116,923
機械装置及び運搬具（純額）	262,474	252,562
土地	18,154	18,259
建設仮勘定	96,662	129,777
その他（純額）	54,828	52,149
有形固定資産合計	549,112	569,672
無形固定資産		
のれん	52,212	48,009
顧客関係資産	23,868	21,266
その他	34,549	34,528
無形固定資産合計	110,630	103,805
投資その他の資産		
投資有価証券	23,523	24,271
退職給付に係る資産	5,942	5,365
繰延税金資産	20,291	19,626
その他	15,920	17,050
貸倒引当金	△311	△216
投資その他の資産合計	65,366	66,098
固定資産合計	725,108	739,576
資産合計	1,303,511	1,330,382

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,490	53,871
短期借入金	45,120	35,060
コマーシャル・ペーパー	11,000	－
1年内償還予定の社債	－	10,000
1年内返済予定の長期借入金	32,612	17,183
未払費用	23,557	24,027
未払法人税等	3,410	11,023
賞与引当金	9,495	13,168
その他	44,543	51,329
流動負債合計	228,229	215,663
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	146,187	176,743
繰延税金負債	23,243	23,587
退職給付に係る負債	32,146	32,755
その他	68,529	65,369
固定負債合計	320,106	348,455
負債合計	548,335	564,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	55,949	45,907
利益剰余金	386,853	409,546
自己株式	△1,623	△1,440
株主資本合計	530,135	542,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,458	6,927
繰延ヘッジ損益	△78	△151
為替換算調整勘定	203,014	201,282
退職給付に係る調整累計額	3,091	1,864
その他の包括利益累計額合計	212,485	209,922
新株予約権	229	229
非支配株主持分	12,325	13,142
純資産合計	755,175	766,263
負債純資産合計	1,303,511	1,330,382

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	593,424	643,351
売上原価	408,970	422,324
売上総利益	184,454	221,027
販売費及び一般管理費		
販売費	35,549	39,163
一般管理費	102,547	112,130
販売費及び一般管理費合計	138,096	151,293
営業利益	46,358	69,733
営業外収益		
受取利息	1,658	1,745
受取配当金	525	790
持分法による投資利益	252	250
その他	835	2,211
営業外収益合計	3,272	4,997
営業外費用		
支払利息	2,025	2,987
その他	7,516	6,401
営業外費用合計	9,541	9,389
経常利益	40,089	65,341
特別利益		
退職給付制度改定益	－	1,769
投資有価証券売却益	3,007	1,208
受取保険金	690	－
特別利益合計	3,698	2,977
特別損失		
災害損失	－	3,006
操業休止関連費用	3,905	1,249
固定資産廃棄損	1,036	1,055
固定資産売却損	1,022	－
事業整理損	890	－
特別損失合計	6,854	5,312
税金等調整前四半期純利益	36,932	63,006
法人税、住民税及び事業税	12,348	19,615
法人税等調整額	1,975	1,369
法人税等合計	14,323	20,985
四半期純利益	22,608	42,021
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△175	1,396
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,784	40,624

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	22,608	42,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,059	468
繰延ヘッジ損益	△316	△58
為替換算調整勘定	△12,400	△1,941
退職給付に係る調整額	416	△1,226
持分法適用会社に対する持分相当額	△144	209
その他の包括利益合計	△13,505	△2,548
四半期包括利益	9,103	39,473
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,456	38,061
非支配株主に係る四半期包括利益	△352	1,411

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年２月10日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、2026年３月23日までに自己株式5,829千株、9,999百万円の取得を行いました。

また、2026年５月13日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、2026年５月29日付で5,830千株、10,033百万円の消却を行いました。

これらの結果等により、当第３四半期連結累計期間において、資本剰余金が10,042百万円、自己株式が182百万円減少し、当第３四半期連結会計期間末において資本剰余金が45,907百万円、自己株式が1,440百万円となっています。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	58,669　百万円	58,590　百万円
のれんの償却額	3,869	4,313

（セグメント情報等の注記）

（セグメント情報）

Ⅰ．前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ビニルアセテート	イソプレン	機能材料	繊維	トレーディング	計				
売上高										
外部顧客への売上高	287,736	44,837	145,720	40,614	48,092	567,001	26,423	593,424	―	593,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,658	13,664	3,420	3,116	958	34,818	4,832	39,651	△39,651	―
計	301,394	58,501	149,140	43,731	49,051	601,819	31,256	633,076	△39,651	593,424
セグメント利益又は損失(△)	48,560	△2,178	4,739	1,295	4,225	56,643	3,045	59,688	△13,330	46,358

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

２．セグメント利益又は損失の調整額△13,330百万円には、内部取引消去1,694百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,024百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

Ⅱ．当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ビニルアセテート	イソプレン	機能材料	繊維	トレーディング	計				
売上高										
外部顧客への売上高	306,660	56,973	165,123	42,608	54,031	625,397	17,954	643,351	―	643,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,978	11,771	2,998	4,038	1,022	35,810	8,271	44,082	△44,082	―
計	322,639	68,745	168,121	46,647	55,054	661,208	26,225	687,433	△44,082	643,351
セグメント利益	55,838	3,387	10,660	8,548	5,423	83,858	1,615	85,473	△15,739	69,733

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業等を含んでいます。

２．セグメント利益の調整額△15,739百万円には、内部取引消去274百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,014百万円が含まれています。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費です。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメント区分の変更）

組織改定に伴い、第１四半期連結会計期間から、エレクトロニクスマテリアルズ推進本部に属する各事業のセグメント区分を、「その他」から「機能材料」に変更しました。なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。